



【町の取り組み】

大山は別名「火の神岳^{ひのかみだけ}」とも呼ばれ、神様の山として人々から崇め敬われてきました。また、日本でも有数の美しい紅葉が見られる観光名所でもあります。

大山町では地元関係者とともに、駐車場の整備、組織再編などを行い、観光地としてのにぎわい復活を目指してきました。

平成23年秋には大山寺参道沿いに「大山火の神岳温泉足湯」がオープンしました。

【大山活性化プロジェクト】

平成21年4月、大山寺参道沿いに温泉が湧出。これを機に大山地域のさらなる魅力づくりのために地元の行政・団体・企業からなる「大山活性化温泉プロジェクト」（稲田二千武座長）を立ち上げました。

そして、この秋、「大山活性化温泉プロジェクト」の核となる日帰り温泉施設『火の神岳温泉豪円湯院』がいよいよオープンします。

この施設は日本海観光開発株式会社出資のもと、稲田代表取締役の「地域の発展・活性化に貢献したい」という強い思いから計画されました。



▲大山活性化温泉プロジェクトの座長を務める稲田二千武氏

【大山火の神岳温泉 豪円湯院】

豪円湯院は、内湯と露天風呂のシンブルな造りになっています。内湯の「神の湯」では、かがり火をもとにした洞窟の雰囲気、五感を通して心身を癒します。

露天風呂には、それぞれ特徴のある造りの庭があり、四季折々の庭を楽しんでいたがながら、大山の山頂が望める空間となっています。週ごとで男湯・女湯は入れ替わります。

そのほかにも、地元や山陰地方の名産品を揃えたお土産コーナー、軽いお食事やお飲み物・甘味などの喫茶レストラン、休憩コーナーも整っています。

*11月2日（土）には関係者によるセレモニーを行い、翌3日（日）より一般向けにオープンします。日頃の忙しさを忘れ、大山での「非日常」をお楽しみください。

◆問い合わせ先

観光商工課

☎0859・53・3110